

※利用者様は部品の交換は行わず、部品の購入・交換については製品をお求めになった販売店にご相談ください。

歩行車 リトルターン (電動アシスト付) 部品交換マニュアル



この部品交換マニュアルは必ずお読みいただき、大切に保管してください

この部品交換マニュアルを必ずよくお読みいただき、十分ご理解の上、マニュアルに沿って作業を進めてください。

なお、誤った交換などによるトラブルなどについては弊社は一切保証いたしかねます。

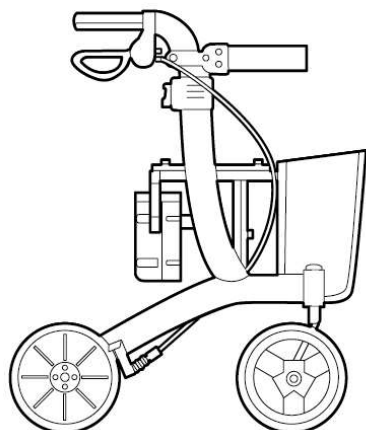
※ 部品交換後は該当部の確認をメンテナンスガイドに従って必ず行ってください。

必要工具

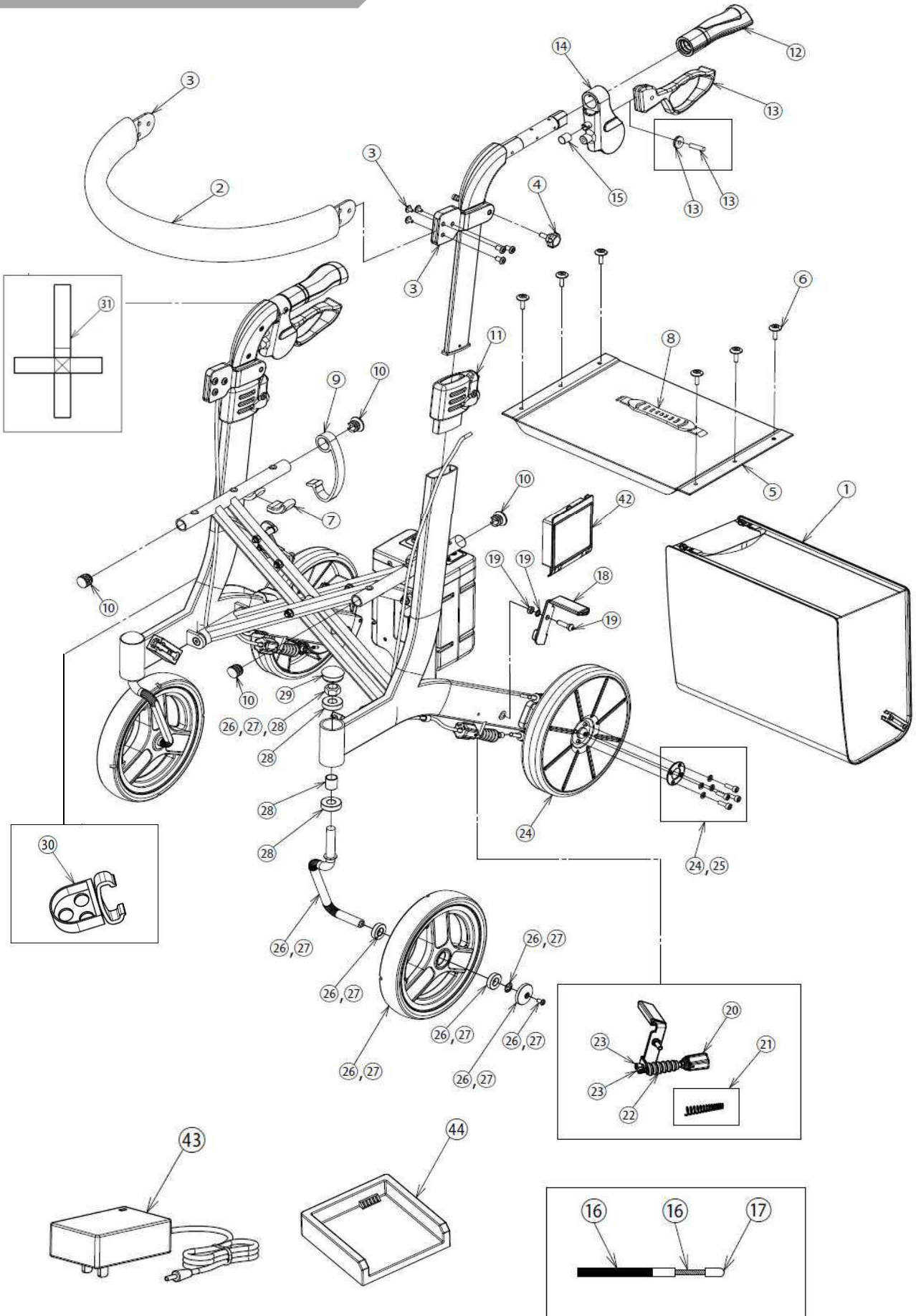
六角レンチ	:	2mm 3mm 4mm×2本 5mm
ソケットレンチ	:	19mm
スパナ	:	10mm
プラスドライバー	:	2番
マイナスドライバー		
ラジオペンチ		
ワイヤーカシメ工具		
ニッパー		
トルクレンチ		
スケール		
カッターナイフ		

もくじ

部品リスト	1~2
①各部の交換方法	3~20
1. バッグの交換方法	… 3
2. 姿勢保持ベルトの交換方法	… 4
3. 座面の交換方法	… 5~6
4. ハンドル部・ブレーキ部の交換方法	… 7~17
5. 後輪の交換方法	… 18
6. 前輪の交換方法	… 18~19
7. 杖ホルダーの交換方法	… 20
8. 杖固定ベルトの交換方法	… 20
②フレームの補修方法	21
③交換後の点検	21
④ブレーキの調整方法	22
⑤シールの貼付位置	23
⑥結束バンドの取り付け位置	24
注意事項	25



部品リスト



部品リスト

No.	部品名	部品コード	価格(税抜き)	備考
1	バッグセット(バッグ・スライド金具)	591952	5,500円	
2	姿勢保持ベルトカバー	591953	2,200円	
3	姿勢保持ベルトセット(ベルト・ベルト固定ナット・基部)	591954	3,650円	
4	姿勢保持ベルト固定ノブボルト×2	591955	2,900円	
5	座面	591956	4,150円	
6	座面固定ボルト×6	591957	1,600円	
7	座面受けカバー	591958	2,900円	
8	折りたたみベルト	591999	2,100円	
9	折りたたみ保持フック	591960	1,600円	
10	シートパイプエンドキャップ(前×2、後×2)	591961	1,200円	
11	ハンドルポスト受けセット(高さ調節ボタン機構一式含む)	591964	2,500円	
12	ハンドルグリップ左右セット	592316	3,800円	電動アシスト付用
13	ブレーキレバーセット(ブレーキレバー・リール・固定ピン)	591966	2,100円	
14	ブレーキ基部(左右セット)	591967	3,050円	
15	ブレーキ基部キャップ×2	591968	1,650円	
16	ブレーキワイヤーセット(ワイヤー・ワイヤーチューブ)(H)	591969	1,800円	
17	ブレーキワイヤー端部キャップ	591971	1,600円	
18	ブレーキ板(左右セット)	592317	2,800円	電動アシスト付用
19	ブレーキ板固定ボルトセット	591973	1,200円	
20	ブレーキ調節ネジ(内蔵バネ含む)	591974	1,200円	
21	ブレーキバネ	591975	1,200円	
22	ブレーキバネカバー	591976	1,200円	
23	ブレーキ固定ソケットセット(ソケット・ソケットネジ)	591977	1,600円	
24	後輪セット(ホイール・タイヤ・リングワッシャー×2・ボルト・スプリングワッシャー×8)	592318	4,500円	電動アシスト付用
25	後輪ボルトセット(リングワッシャー×2・ボルト・スプリングワッシャー×8)	592319	3,000円	電動アシスト付用
26	前輪セット(右)(ホイール・タイヤ・ベアリング×2・前輪フォーク・前輪カシメワッシャー・前輪キャップ・前輪キャップ固定ネジ・前輪フォーク固定ナット)	591980	3,200円	
27	前輪セット(左)(ホイール・タイヤ・ベアリング×2・前輪フォーク・前輪カシメワッシャー・前輪キャップ・前輪キャップ固定ネジ・前輪フォーク固定ナット)	591981	3,200円	
28	前輪フォークベアリングセット(ベアリング×2・カラー・前輪フォーク固定ナット)	591982	1,700円	
29	前輪フォークキャップ	591983	1,200円	
30	杖ホルダー	591984	1,600円	
31	杖固定ベルト	591985	1,200円	
32	ブレーキ・駐車ロックシール左右10枚入り	592000	1,400円	※
33	ブレーキ調節表示シール10枚入り	592001	1,400円	※
34	指はさみ注意シール10枚入り	592002	1,400円	※
35	フレーム前方保護シール10枚入り	592003	1,500円	※
36	フレーム後方保護シール10枚入り	592004	1,500円	※
37	高さ調節解除シール左右10枚入り	592005	1,500円	※
38	ブレーキ指はさみ注意シール左右10枚入り	592006	1,400円	※
39	操作パネルシール	592320	1,900円	電動アシスト付用
40	補修用ペイント(タッチペン)	592271	4,500円	※
41	補修用スプレー	592270	10,000円	※
42	電池	592321	19,000円	電動アシスト付用
43	専用ACアダプター	592322	7,500円	電動アシスト付用
44	専用充電器	592323	12,000円	電動アシスト付用
45	結束バンドセット	592324	1,800円	電動アシスト付用 ※
46	前輪左右6台分セット	592313	30,720円	※

※「備考」欄に※印がある部品は図示していません。また、「電動アシスト付用」と記載している部品以外は、「歩行車リトルターン」の共通部品です。
 ※価格は予告なく変更する場合があります。最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。

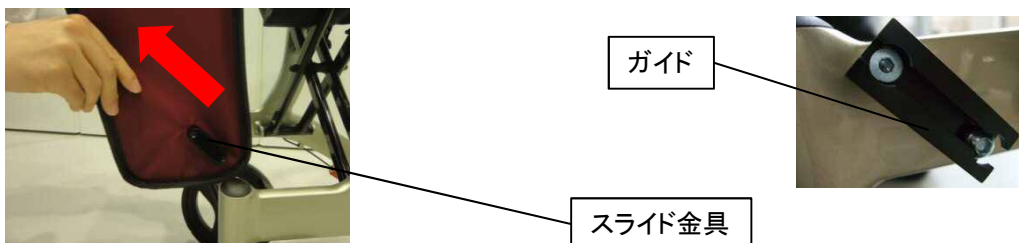
①各部の交換方法

1. バッグの交換方法

1) 折りたたみベルトを上方向に引っ張り、本体を軽く閉じます。



2) バッグを斜め上方に向けてスライドさせるように引っ張り上げます。



3) 新しいバッグの側面にあるスライド金具を本体前部のガイドに差し込みます。

交換部品: 1. バッグセット
(バッグ・スライド金具)

①各部の交換方法

2. 姿勢保持ベルトの交換方法

1) 左右の姿勢保持ベルト固定ノブボルトを外します。

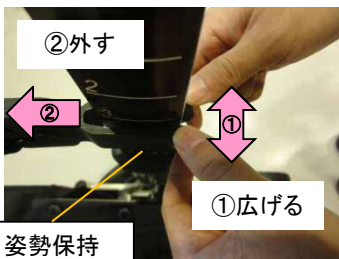


姿勢保持ベルト
固定ノブボルト



交換部品: 4. 姿勢保持ベルト固定ノブボルト

2) 姿勢保持ベルト基部のスリットを広げ、ハンドルポストから姿勢保持ベルトを外します。



姿勢保持
ベルト基部



☞ スリットに指を挟まないよう
注意してください。

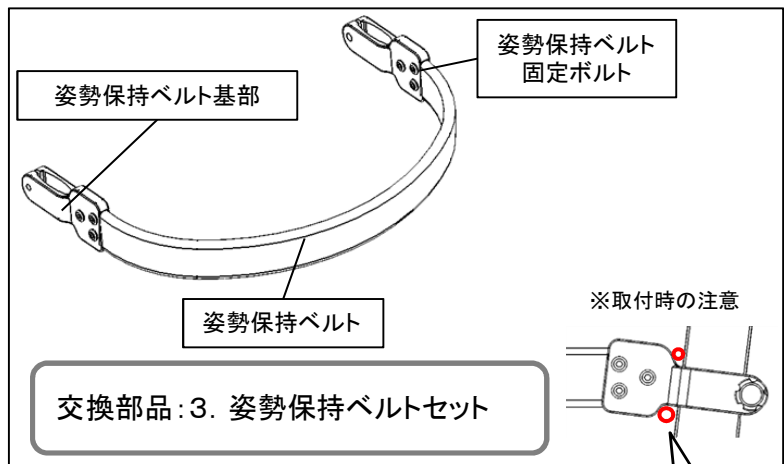
☞ ハンドルポストを傷つけないよう
注意してください。

3) 姿勢保持ベルト基部のボルトを4mmの六角レンチ2本を使って片側のみ外し、外した側から姿勢保持ベルトカバーを引き抜きます。



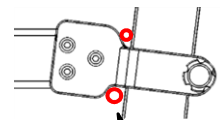
引き抜く

六角レンチ4mm×2本
トルクレンチ

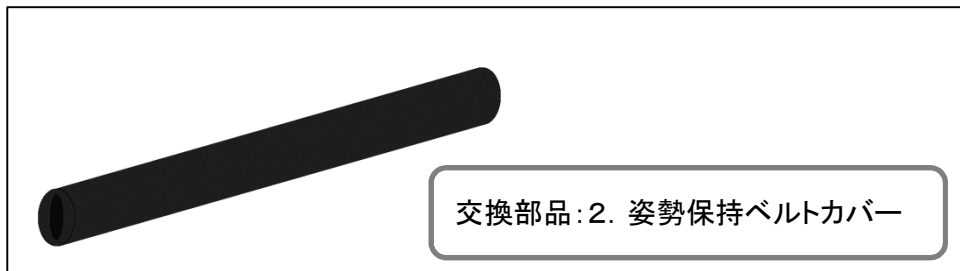


交換部品: 3. 姿勢保持ベルトセット

※取付時の注意



4) 姿勢保持ベルトカバーを姿勢保持ベルトに差し込みます。



交換部品: 2. 姿勢保持ベルトカバー

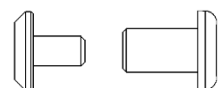
くぼみ大きい方
が下です

5) 逆の手順で姿勢保持ベルトを取り付けます。

☞ 姿勢保持ベルト固定ノブボルトの締め付けトルクは2N・m(20kgf・cm)です。

☞ 姿勢保持ベルト固定ノブボルトは雄ネジが内側です。(右図参照)

内側 外側



①各部の交換方法

3. 座面の交換方法

- 1) 折りたたみベルトを上方向に引っ張り、本体を軽く閉じます。
- 2) リングを折りたたみ防止フックから外し、
続いて折りたたみベルトからリングを外します。

※リングを折りたたみベルトから外すだけでも構いません。

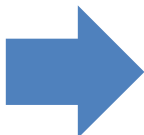
マイナスドライバー
ラジオペンチ



折りたたみ
ベルト

折りたたみ
防止フック

リング

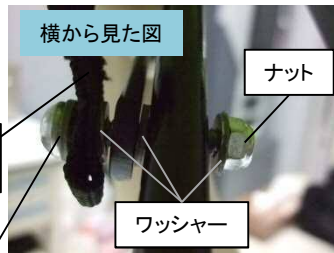
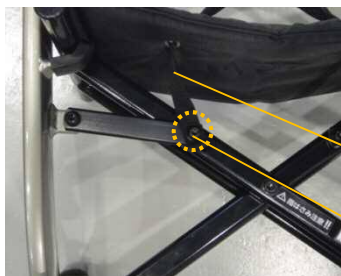


①マイナスドライバーで
リングを広げる。

②ラジオペンチで
リングを回して外す。

- 3) 折りたたみベルトを固定しているボルトを外します。

六角レンチ5mm
スパナ10mm



横から見た図

ナット

折りたたみ
ベルト

ボルト

ワッシャー



- 4) 座面から折りたたみベルトを引き抜きます。

☞ ボルトを締める時は、締めつけ過ぎて折りたたみ動作に支障がでないよう、また締め付けが甘くボルトが外れたりしないよう注意してください。

☞ ボルトを再度取り付ける時は、ワッシャーの位置に注意してください。

交換部品: 8. 折りたたみベルト



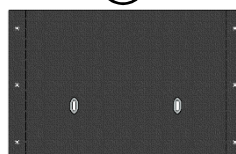
- 5) 座面固定ボルトを6カ所外し、座面を外します。

交換部品: 6. 座面固定ボルト



プラスドライバー
2番

前



後

交換部品: 5. 座面

- 6) 逆の手順で新しい座面を取り付けます。

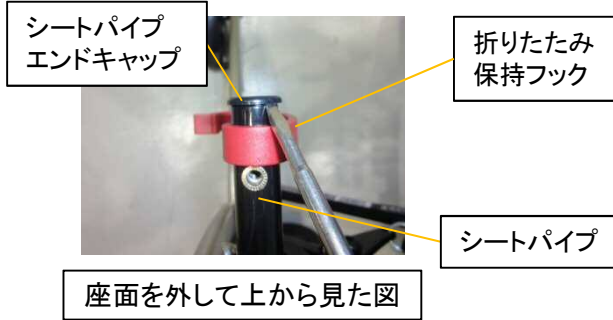
☞ 座面を取り付ける時は、座面の前後の向きに注意してください。

①各部の交換方法

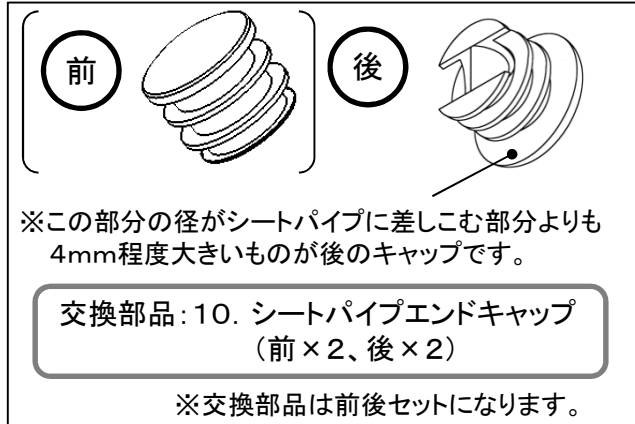
3. 座面の交換方法(その他の座面まわり).....

■折りたたみ保持フックの交換方法

1)シートパイプエンドキャップ(後)を外します。



マイナスドライバー



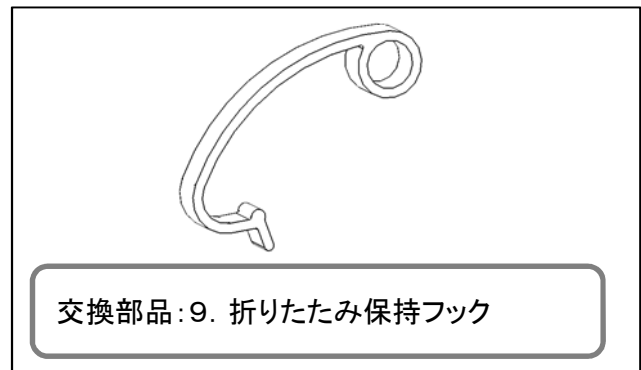
2)折りたたみ保持フックをシートパイプから引き抜きます。

3)新しい折りたたみ保持フックを取り付けて、シートパイプエンドキャップを取り付けます。



👉 シートパイプエンドキャップには前と後の2種類があります。前後の取り付けを間違えないよう注意してください。(上図参照)

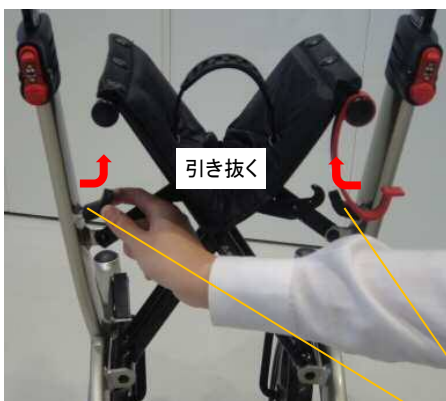
👉 折りたたみ保持フックの取り付け向きに注意してください



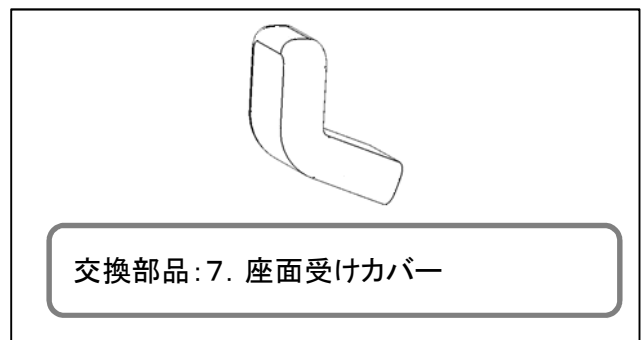
■座面受けカバーの交換方法

1)本体を軽く折りたたみます。

2)座面受けカバーを引き抜き、交換します。



👉 座面受けカバーを取り付けないと、ガタツキが生じます。



①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法

A. ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブの交換方法

1) ブレーキワイヤー端部キャップを外し、ブレーキ固定ソケットのボルトを緩めてブレーキワイヤーを引き抜きます。

六角レンチ4mm
ラジオペンチ



①ラジオペンチで
端部キャップを外す。



②六角レンチで
固定ソケットを外す。

ブレーキワイヤー端部キャップ

ブレーキ固定ソケット



交換部品: 17. ブレーキワイヤー
端部キャップ



交換部品: 23. ブレーキ固定ソケットセット

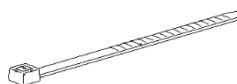
2) ニッパーで結束バンドを切り、ブレーキワイヤーと配線を分離します。

ニッパー



👉 結束バンドを切る時は、配線を傷つけないように注意してください。

👉 左右合わせて10か所あります。



交換部品: 45. 結束バンドセット

使用する結束バンド:

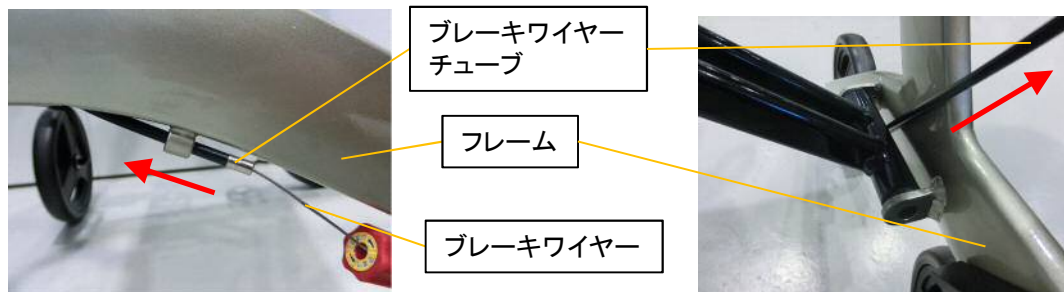
① ~ ④ 幅: 2. 2mm、長さ: 80mm、耐候

⑤ 幅: 4. 3mm、長さ: 157mm、耐候

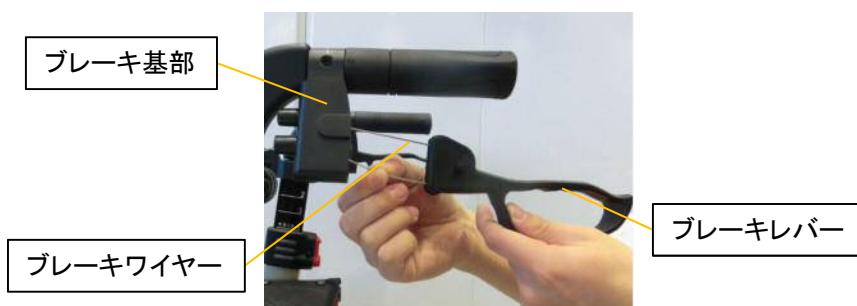
①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

3) フレームからブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブを引き抜きます。



4) ブレーキレバーをブレーキ基部から引き抜き、ブレーキレバーからブレーキワイヤーを引き抜きます。



5) ブレーキ基部固定ネジを外します。



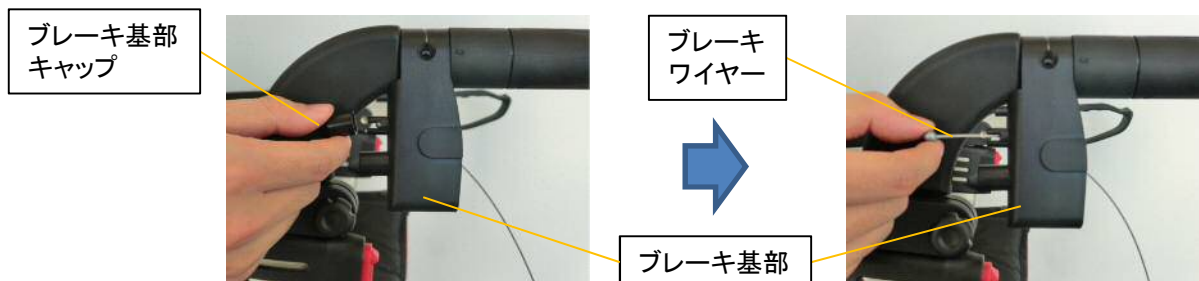
ブレーキ基部固定ネジ


プラスドライバー
2番

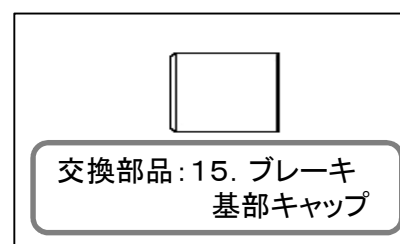
①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

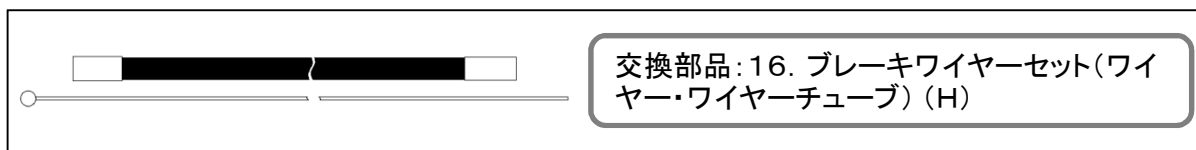
6) ブレーキ基部キャップをブレーキ基部から外し、ブレーキワイヤーをブレーキ基部から引き抜きます。



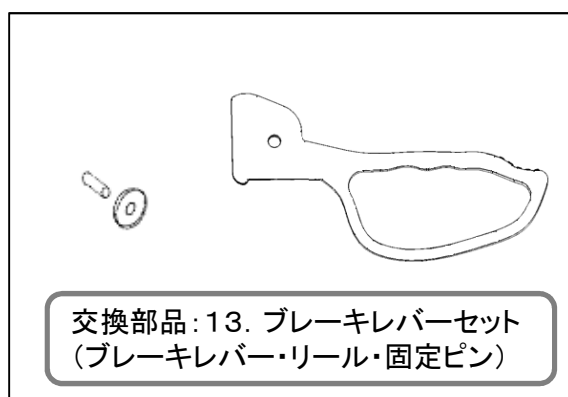
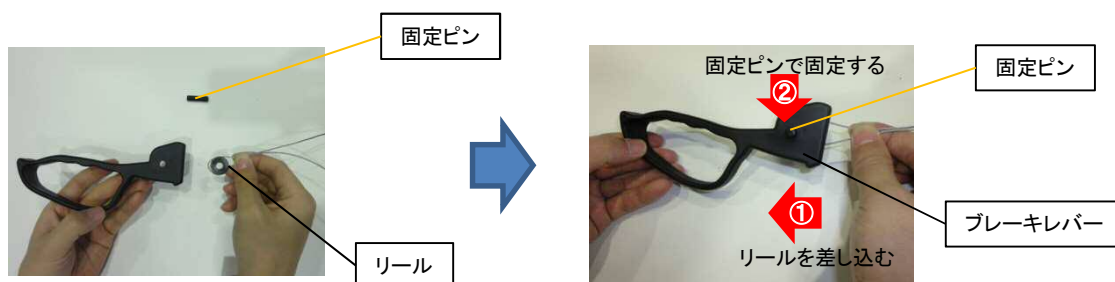
 ブレーキ基部キャップが外しにくい場合はブレーキ基部を傾けてください。傾ける時は、配線に注意してください。



7) 新しいブレーキワイヤーをブレーキ基部の穴(上側)に通し、ブレーキ基部キャップをブレーキ基部に取り付けます。(4. A. 4の逆手順)



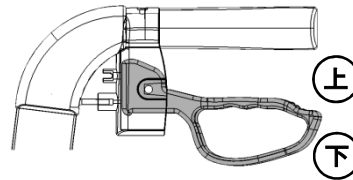
8) ブレーキレバーから固定ピンを抜き、リールを外します。ブレーキワイヤーを外したリールに沿わせ、ブレーキレバーに差し込み、固定ピンでブレーキレバーに固定します。



①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

9)ブレーキワイヤーをブレーキ基部の穴(下側)に通します。(4. A. 4の逆手順)



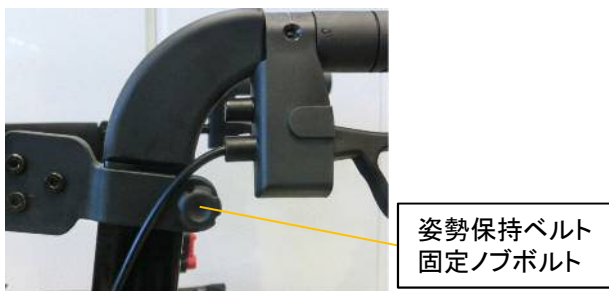
- ☞ ブレーキレバーの向きに注意してください。
- ☞ ブレーキワイヤーが交差したり、リールに噛んだりしないよう注意してください。

10)ブレーキワイヤーを新しいブレーキワイヤーチューブに通します。



11)ブレーキワイヤーチューブをフレームに通します。

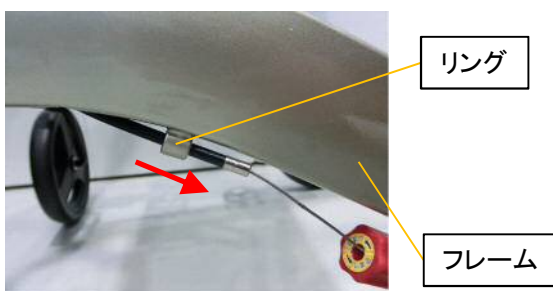
①姿勢保持ベルト固定ノブボルトの上側



②クロスバー下部とフレームの間



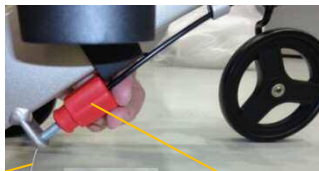
③フレーム下部のリング



①各部の交換方法

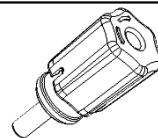
4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

12) ブレーキワイヤーをブレーキ調節ネジに通します。



ブレーキワイヤー

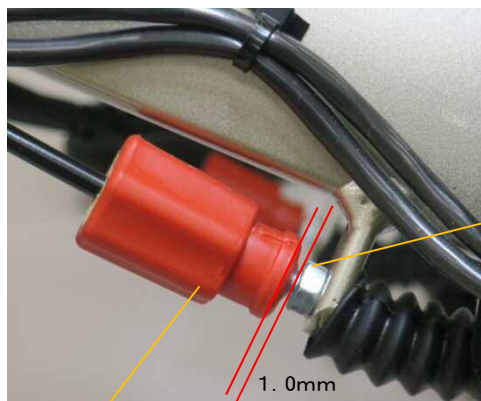
ブレーキ調節ネジ



交換部品:20. ブレーキ調節ネジ

13) ロックナットを緩めブレーキ調節ネジを回します。

ロックナットからブレーキ調節ネジのすきまが1.0mm程度になるよう調整してください。



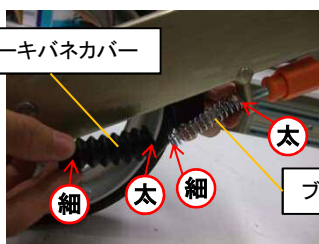
ロックナット

ブレーキ調節ネジ

スパナ10mm
スケール

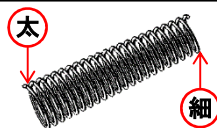
14) ブレーキワイヤーをブレーキバネに通し、ブレーキバネカバーを取り付けます。

ブレーキバネカバー




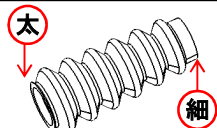
ブレーキバネ

ラジオペンチ



交換部品:21. ブレーキバネ

 ワイヤーが通りにくい時は、ラジオペンチでワイヤーをはさみ、引っ張ってください。




交換部品:22. ブレーキバネカバー

15) ブレーキワイヤーをブレーキ板に通します。

ブレーキ板



ラジオペンチ

 ワイヤーが通りにくい時は、ラジオペンチでワイヤーをはさみ、引っ張ってください。

①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

16)ブレーキワイヤーをブレーキ固定ソケットに通し、締めつけて固定します。(4. A. 1の逆手順)

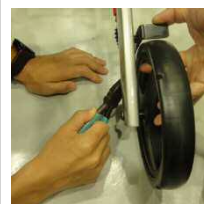
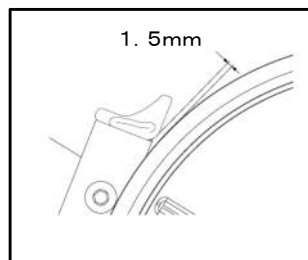
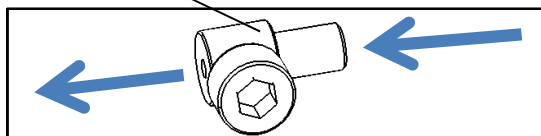
ラジオペンチ
六角レンチ4mm
トルクレンチ
スケール

☞ ブレーキ固定ソケットの細い側からワイヤーを通します。

☞ ブレーキ板を指で押さえながら、ブレーキワイヤーをラジオペンチなどで引っ張り、ブレーキ板とタイヤの間隔が1.5mmになるようソケットを締めつけてください。

☞ ブレーキ固定ソケットの締め付けトルクは2N・m(20kgf・cm)です。

ブレーキ固定ソケット



17)ブレーキワイヤー端部キャップを取り付け外れないようカシメます。

ワイヤーカシメ工具
(ワイヤーカッターなど)

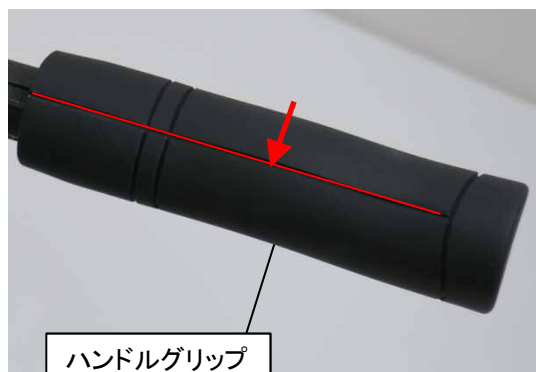


交換部品:17. ブレーキワイヤー端部キャップ

B. ハンドルグリップ、ブレーキ基部の交換方法

1)図に示す溝に沿って切り込みを入れハンドルグリップを外します。

カッターナイフ



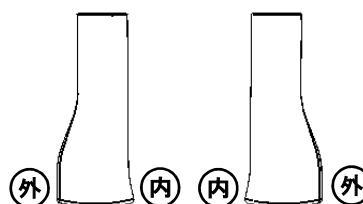
ハンドルグリップ

☞ 切り込みを入れる時は、けがに注意してください。

☞ ハンドルグリップ内側に切り込みを入れ、ハンドルグリップを外してください。

☞ 図に示す位置以外に切り込みを入れると、内蔵されているセンサーを傷つけるので図に示す位置以外は切り込みを入れしないでください。


交換部品:12. ハンドルグリップ左右セット
(反射板含む)



①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)


B. ハンドルグリップ、ブレーキ基部の交換方法(つづき)

 ハンドル基部は交換対象外です。交換が必要な場合は製造元にご連絡下さい。

以下ブレーキ基部を交換する場合

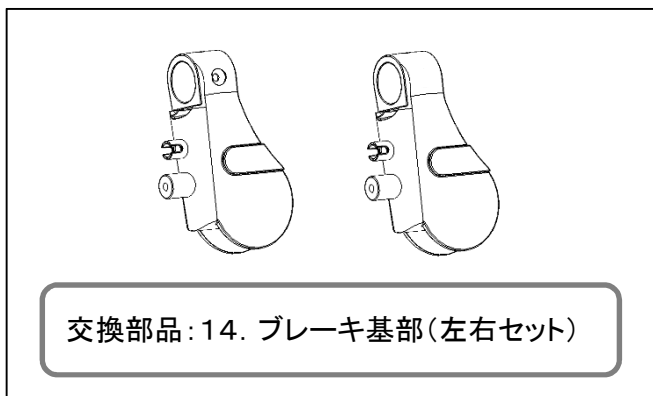
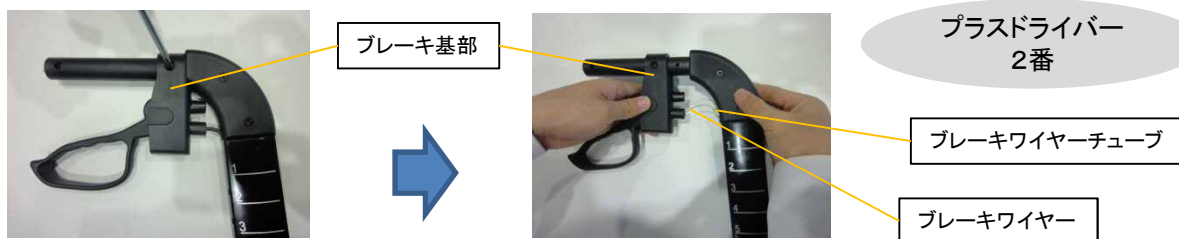
六角レンチ4mm
ラジオペンチ
ニッパー


- 2)ブレーキワイヤー端部キャップを外し、ブレーキ固定ソケットのボルトを緩めてブレーキワイヤーを引き抜きます。
ニッパーで結束バンドを切り、ブレーキワイヤーと配線を分離します。
フレームからブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブを引き抜きます。
ブレーキレバーをブレーキ基部から引き抜き、ブレーキレバーからブレーキワイヤーを引き抜きます。 (4. A. 1～6と同じ作業)

 結束バンドを切る時は、配線を傷つけないように注意してください。

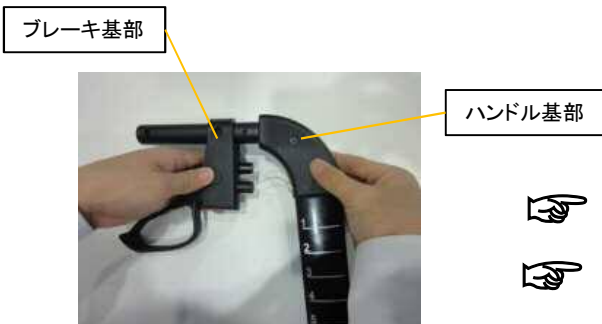
 左右合わせて10か所あります。

- 3)ブレーキ基部固定ネジを外し ブレーキ基部を取り外します。





 ハンドル基部にあるセンサーがめくれられないように注意してください。

- 4)ブレーキ基部をハンドル基部に差し込み、ブレーキ基部固定ネジで固定します。



プラスドライバー
2番

 ブレーキ基部はネジ穴が内側となるように固定してください。

 ハンドル基部にあるセンサーがめくれられないように注意してください。

①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

- 5) ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブを新しいものに交換します。
結束バンドを新しいものに交換し、ブレーキワイヤーと配線を締結します。
(4. A. 7～17と同じ作業)

☞ 結束バンドは切り離す前と同じ位置で締結してください。

☞ 左右合わせて10か所あります。

以下ハンドルグリップを交換する場合

- 6) ハンドルグリップを外します。(4. B. 1と同じ作業)

- 7) ハンドルグリップをハンドルに取り付けます。



☞ ハンドル基部内側の溝とハンドルグリップ表面の溝が同一線上に重なるように取り付けてください。また、内側ではリブと溝が一致するように取り付けてください。

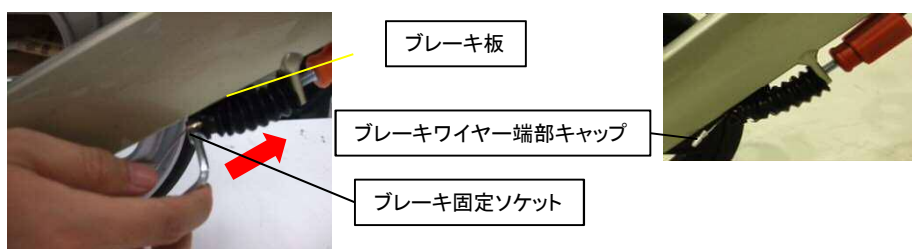
☞ ハンドルグリップを必ず奥まで入れてください。合わせ位置があっていない場合は入りません。

☞ ハンドル基部にあるセンサーがめくれないように注意してください。

C. ブレーキ板の交換方法

- 1) ブレーキワイヤー端部キャップを外し、ブレーキ固定ソケットを緩めて
ブレーキワイヤーをブレーキ固定ソケット、ブレーキ板から引き抜きます。

六角レンチ4mm
スパナ10mm
ラジオペンチ
スケール



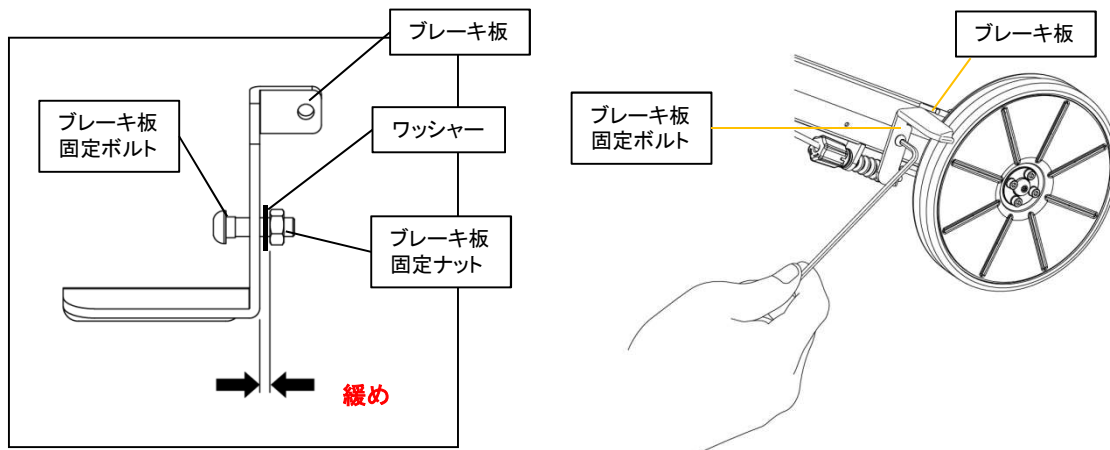
①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

C. ブレーキ板の交換方法(つづき)

六角レンチ4mm

2) ブレーキ板固定ナットを緩め、ブレーキ板固定ボルトを外してブレーキ板を交換します。




3) 上図(左)のようにブレーキ板固定ナットを緩めに取り付けした状態で本体に取り付けます。
(※後輪との干渉を避けて取り付けるため)

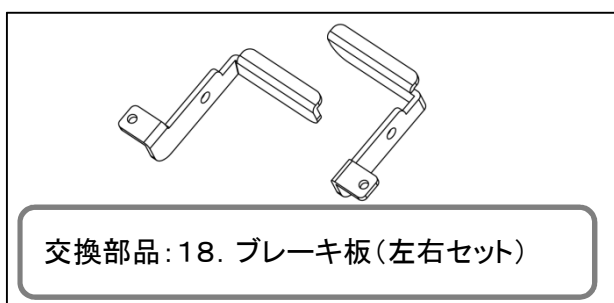
4) ブレーキ板固定ボルトを締めつけ、回らなくなったらブレーキ板固定ナットを締めつけて
ブレーキ板が回転可能な範囲内でガタツキをできるだけ小さくします。

5) 再度ブレーキ板固定ボルトを締めつけます。

6) 1の逆手順でブレーキワイヤーを取り付けます。

六角レンチ4mm
ラジオペンチ

 ブレーキ板を指で押さえながら、ブレーキワイヤーをラジオペンチなどで引っ張り、ブレーキ板とタイヤの間隔が1.5mmになるようソケットを締めつけてください。

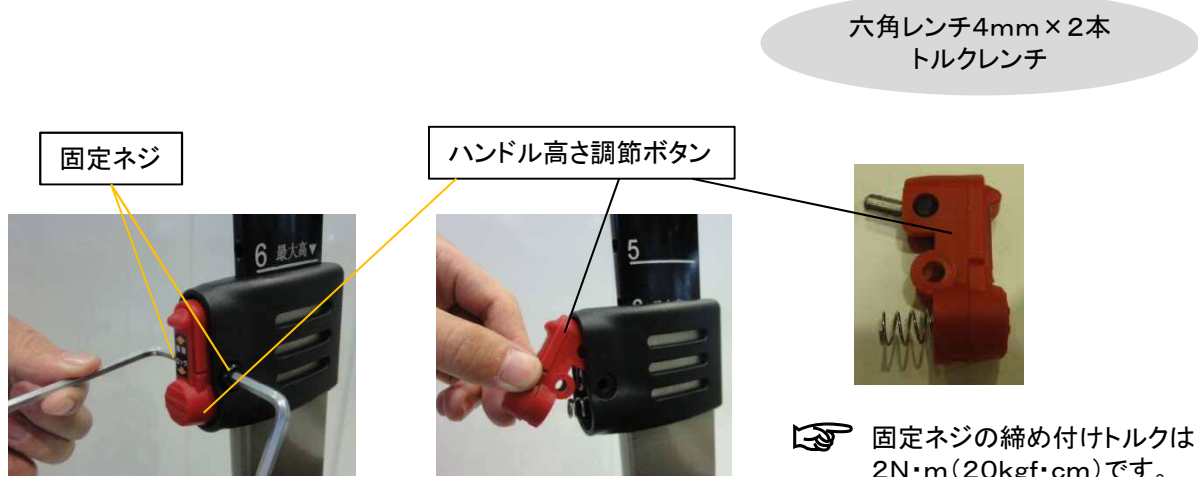


①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

D. ハンドルポスト受けの交換方法

1) ハンドル高さ調節ボタンの固定ネジを外してハンドル高さ調節ボタンを外します。



2) ブレーキワイヤー端部キャップを外し、ブレーキ固定ソケットのボルトを緩めてブレーキワイヤーを引き抜きます。
ニッパーで結束バンドを切り、ブレーキワイヤーと配線を分離します。
フレームからブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブを引き抜きます。
ブレーキレバーをブレーキ基部から引き抜き、ブレーキレバーからブレーキワイヤーを引き抜きます。(4. A. 1～6と同じ作業)

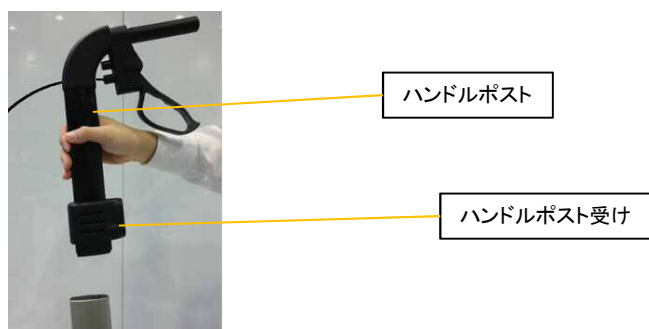
☞ ハンドルポストを引き抜く時は、配線を切らないように注意してください。

☞ 結束バンドを切る時は、配線を傷つけないように注意してください。

☞ 結束バンドを切る箇所は、左右合わせて10か所あります。

六角レンチ4mm
ラジオペンチ
ニッパー

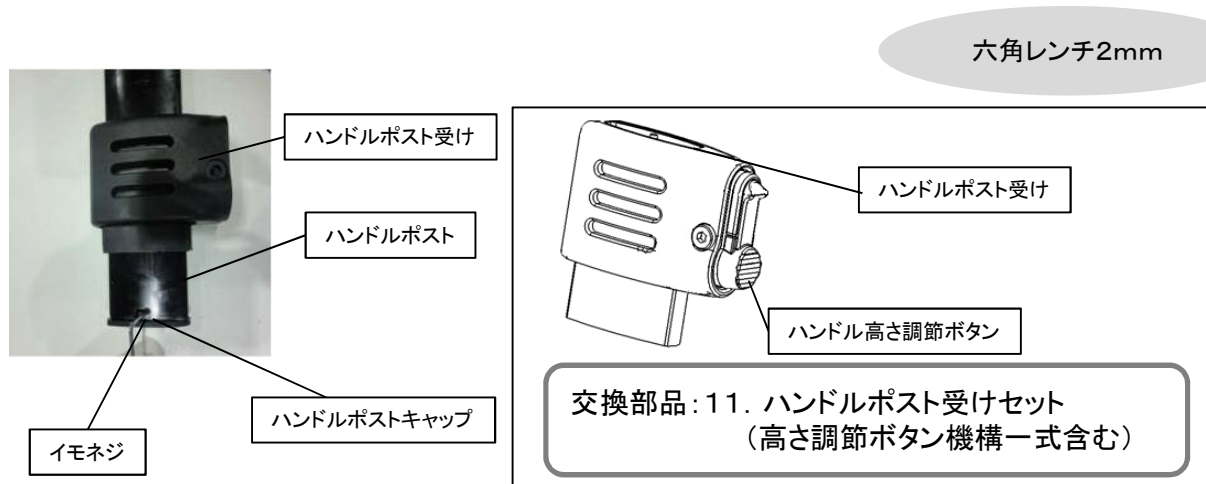
3) ハンドルポスト、ハンドルポスト受けをフレームから引き抜きます。



①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

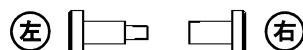
4) ハンドルポストキャップのイモネジを両側とも外し、ハンドルポストキャップを取り外します。



5) ハンドルポストからハンドルポスト受けを引き抜きます。

6) 逆の手順でハンドルポストをフレームに取り付けます。

- ☞ ハンドル高さ調節ボタンの固定ピンがしっかりとハンドルポストに挿入されていることを確認してください。
- ☞ 高さ調節ボタン固定ボルトは雄ネジが後ろから見た時の左側です。(下図参照)



7) ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブを新しいものに交換します。
結束バンドを新しいものに交換し、ブレーキワイヤーと配線を締結します。
(4. A. 7~17と同じ作業)

- ☞ 結束バンドは切り離す前と同じ箇所です締結してください。
- ☞ 結束バンドを締結させる箇所は左右合わせて10か所あります。
結束バンドを締結させる箇所は、4. A. 2 (7ページ)に記載されています。
- ☞ 結束バンドを締結したら、余った部分をニッパーで切り取ってください。
- ☞ 結束バンドの切り口が鋭利にならないように切り取ってください。

六角レンチ4mm
ラジオペンチ
ニッパー

①各部の交換方法

5. 後輪の交換方法

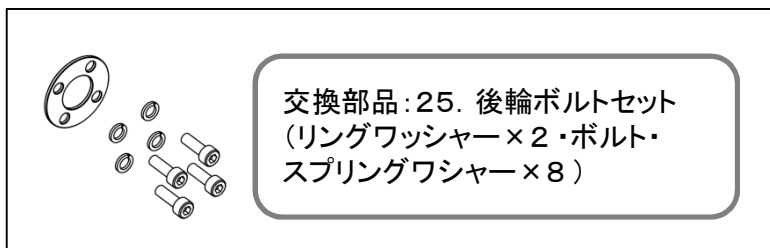
1) 後輪ボルトを外します。(左右各4本)

六角レンチ4mm
トルクレンチ



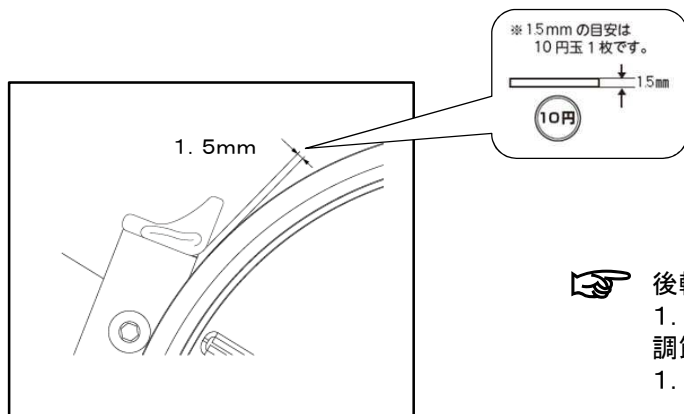
👉 後輪ナットの締め付けトルクは
締め付けトルクは $5\text{N}\cdot\text{m}$ ($50\text{kgf}\cdot\text{cm}$)です。

👉 後輪セットは1台分(1セット)での販売に
なります。



👉 後輪ボルトセットは1台分
(1セット)での販売になり
ます。

2) 後輪タイヤとブレーキ板の隙間を調整してください。

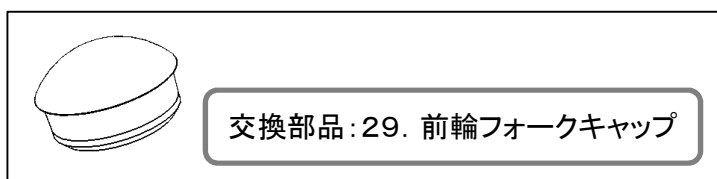


👉 後輪交換後にブレーキ板とタイヤの隙間が
1.5mmになるようにブレーキ調節ネジで
調節してください。
1.5mmの目安=10円玉の厚み

6. 前輪の交換方法

1) 前輪フォークキャップを外します。

マイナスドライバー



①各部の交換方法

6. 前輪の交換方法(つづき)

2) ナットを緩め、前輪フォークから取り外します。



ソケットレンチ19mm
トルクレンチ

☞ ナットを締める時は、前輪が共回りしないよう手で押さえてください。

3) 前輪フォークをフレームから引き抜きます。



☞ 前輪フォークにベアリングがついた状態で抜けた場合はベアリングをフレームに戻してください。

前輪フォーク

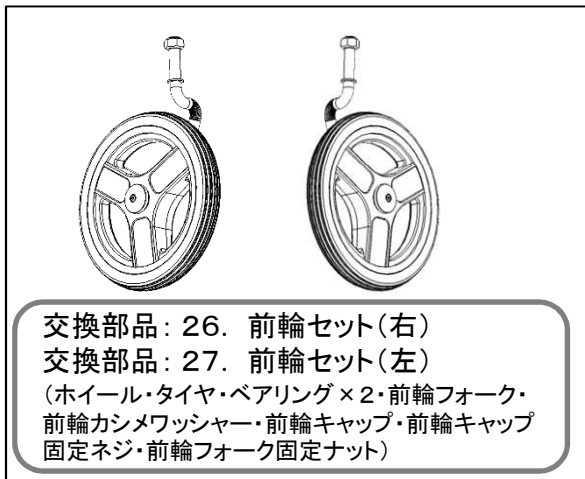
4) 前輪セットを取り付け、ナットを締め、前輪フォークキャップをはめ込みます。

トルクレンチ

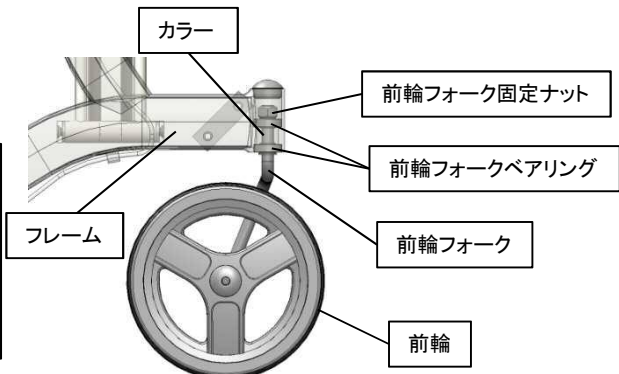
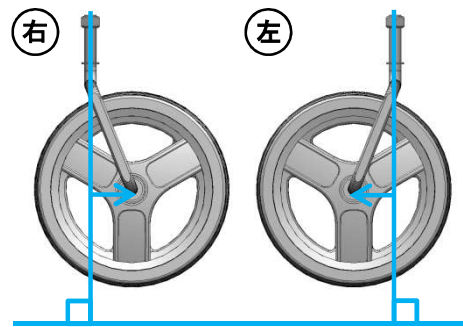
☞ 前輪フォークを取り付ける時は、前輪セットに付属される新しいナットを必ずご利用ください。

☞ ベアリングを交換する時は、前輪フォークベアリングセットに付属される新しいナットを必ずご利用ください。

☞ 前輪フォーク固定ナットの締め付けトルクは7N・m(70kgf・cm)です。



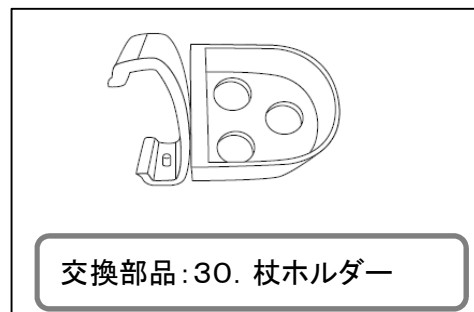
前輪左右の見分け方



①各部の交換方法

7. 杖ホルダーの交換方法

- 1) 杖ホルダー固定部の下側から、スリット部を開くようにして取り外し新しいものと交換します。



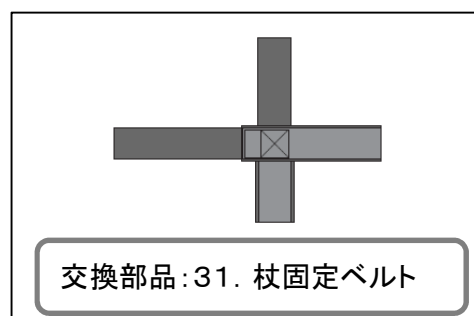
- 2) 杖ホルダーの取付位置を左右を入れ替える場合はボルトを緩め、杖ホルダーを回転させて、角度を合わせた上で、取り付けます。

六角レンチ3mm




8. 杖固定ベルトの交換方法


- 1) 杖固定ベルトをフレームから取り外し新しいものと交換します。





②フレームの補修方法

- 1) 塗装面のゴミ、油分、サビなどをよく落とします。
- 2) 塗料が傷以外につかないように、マスキングを施します。
- 3) タッチペンまたはスプレーで塗装します。

 塗料の一部が沈殿していることがあります。その場合はタッチペンの容器を振って塗料をよく混ぜ合わせてからご使用ください。

 深い傷には数回重ね塗りをしてください。重ね塗りは塗料が乾いてから行ってください。

 塗装方法の違いや、補修面の変退色により、色が正確に合わない場合があります。

 火気には十分に注意してください。

補修部品：40. 補修ペイント(タッチペン)
41. 補修ペイント(スプレー)

③交換後の点検

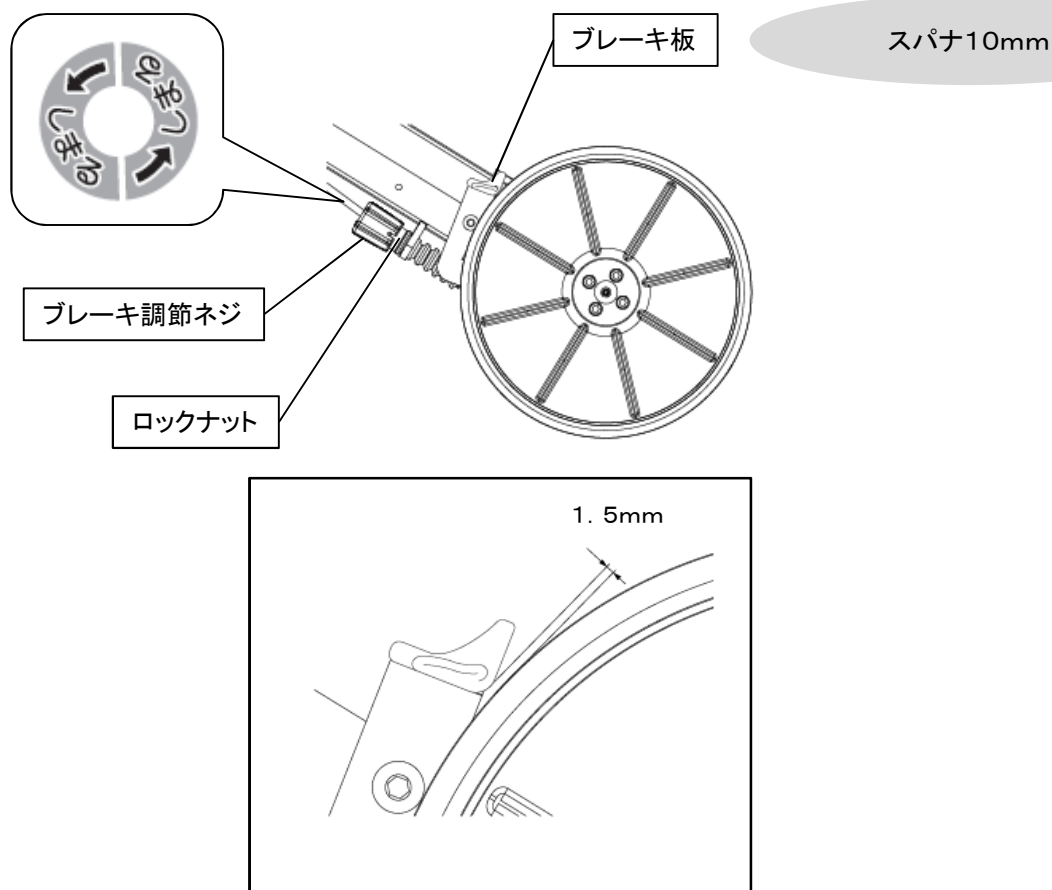
- ブレーキレバーを引いて、ブレーキ板が左右両輪に均等に、確実に当たっていることを確認してください。
- ブレーキレバーがスムーズに動き、ブレーキが効くまで十分に握れることを確認してください。
- ブレーキおよび駐車ロックが確実に作動することを確認してください。
- 車体を押した時に、違和感なく直進することを確認してください。
- 折りたたみ動作がスムーズに行えることを確認してください。
- 各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。
- アシスト機能が正常に機能することを確認してください。

 点検方法の詳細などはメンテナンスガイドを参照してください。

④ブレーキの調整方法

ブレーキが効きにくくなった場合、ブレーキ調節ネジでブレーキ板の位置を調節してください。

- 1) ロックナットを緩めてから、ブレーキ調節ネジのシールの表記に従って、矢印の方向にブレーキ調節ネジを回します。



- 2) ブレーキ板とタイヤの隙間が1.5mmになるように調節してください。
隙間が小さくなりすぎてしまった場合は、ブレーキ調節ネジを逆方向に回して調節してください。
調節終了後ロックナットを締めてください。

⑤シールの貼付位置

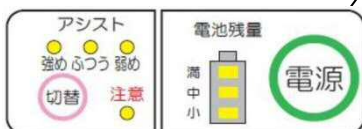
シールが、破損している場合は交換してください。



3) 高さ調節ロック・解除シール
※右側の同じ位置にもあります。



1) フレーム前方保護シール
※右側の同じ位置にもあります。



7) 操作パネルシール



4) 指はさみ注意シール



5) ブレーキ調節表示シール
※左側の同じ位置にもあります。



6) ブレーキ指はさみ注意シール
※右側の同じ位置にもあります。



2) ブレーキ・駐車ロックシール
※左側の同じ位置にもあります。



1) フレーム後方保護シール
※左側の同じ位置にもあります。

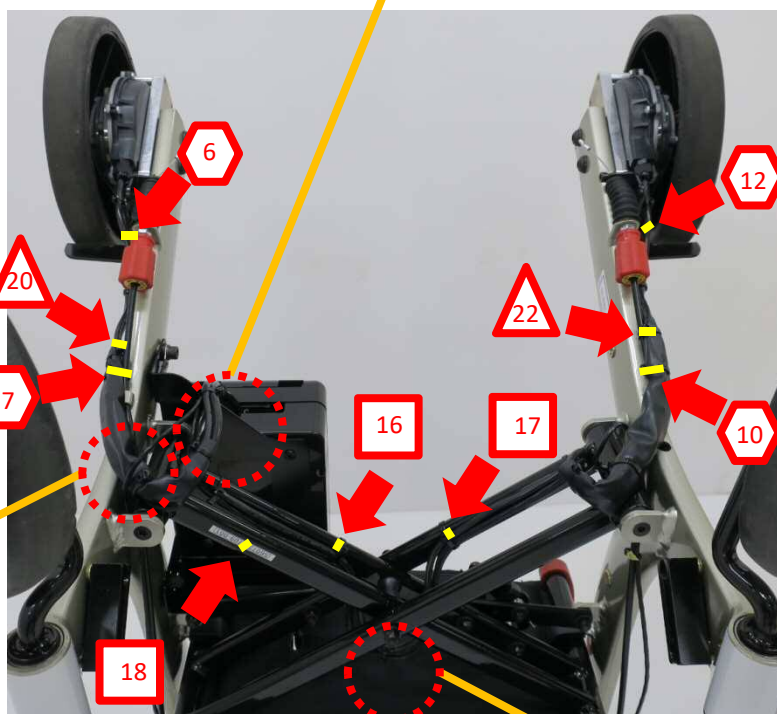
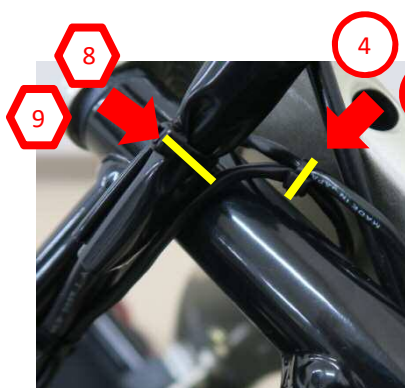
- 交換部品:32 ブレーキ・駐車ロックシール
- 交換部品:33 ブレーキ調節表示シール
- 交換部品:34 指はさみ注意シール
- 交換部品:35 フレーム前方保護シール
- 交換部品:36 フレーム後方保護シール
- 交換部品:37 高さ調節解除シール
- 交換部品:38 ブレーキ指はさみ注意シール
- 交換部品:39 操作パネルシール

⑥結束バンドの取り付け位置

結束バンドが、破損している場合は交換してください。(全26か所)



左右対称の位置です。
左右合わせて10か所あります。



交換部品: 45. 結束バンドセット

使用する結束バンド:

- ① ~ ⑤ 幅: 2. 2mm、長さ: 80.3mm、耐候
- ⑥ ~ ⑫ 幅: 3. 0mm、長さ: 106mm、耐候
- ⑬ ~ ⑰ 幅: 4. 3mm、長さ: 157mm、耐候
- ⑳ ~ ㉒ 幅: 3. 0mm、長さ: 132mm、耐候





注意事項

👉 保管について

- 戸外に保管して風雨や直射日光にさらしたままにしないこと
- 火気に近づけないこと、また高温になる場所に保管しないこと
- 荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと
- 取扱説明書は本体と一緒に保管すること

👉 お手入れについて

- 車輪に付着した泥や汚れなどはそのままにせず、よく絞った布などで必ず落とすこと
洗浄するときは車体に向けて放水しないこと(高圧洗浄も不可)
- 次にあげるものではお手入れしないこと
 - ・シンナー
 - ・クレゾール
 - ・熱湯
 - ・塩素系薬剤をかけたの殺菌、消毒
 - ・磨き粉
 - ・塩素系洗剤
 - ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・タワシ
 - ・研磨剤入りのスポンジ
 - ・その他製品を傷つけるもの
- 高温の空気やオゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いた消毒を行わないこと
製品の消毒は、アルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します
製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください
特にABS樹脂部分(制御ボックス、電池、専用充電器、専用ACアダプター)は消毒後、
水拭きと乾拭きをしてください。消毒液が残ると跡残りの原因になります
- 注油する場合は、タイヤ、ブレーキ板に油がつかないように注意すること
タイヤやブレーキ板に付着した油はよく拭き取ってください

👉 廃棄について

- 廃棄については各自治体の指示にしたがって処分、廃棄すること

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル  **0120-86-7735**
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00はのぞく)

製造・発売元



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <http://www.aronkasei.co.jp/>

18.09 919136